

本庄市議会だより



本庄市マスコット
はにほん



写真タイトル

「本庄七夕祭り」

撮影者：ペンネーム「かえママ」さん
撮影場所：金鑽神社

今年度は表紙写真の公募を行っています。
詳しくは裏面及びホームページをご覧ください。

おもな内容

	ページ
○第2回定例会の概要、おもな案件	2
○おもな案件、提出議案とその結果	3
○市政に対する一般質問	4～10
○委員会の動き、政治倫理審査会	10～11
○議員表彰、9月定例会の予定等	12



令和7年第2回定例会（6月定例会）を、5月26日（月）から6月20日（金）までの26日間の会期で開催しました。
 今定例会には、市長から条例の一部改正、人事案件、令和7年度補正予算など16議案が提出されました。
 さらに最終日には、市長から条例の一部改正、令和7年度補正予算の2議案の提出がありました。
 慎重審議の結果、それぞれ原案のとおり可決、承認、同意しました。

おもな案件①

◆本庄市敬老祝金給付条例の特例に関する条例
 令和7年1月1日から同年3月31日までの間に満77歳、満99歳又は満101歳以上の年齢に達した者に対して敬老祝金を給付するための条例制定です。

◆本庄市土砂の堆積の規制に関する条例を廃止する条例
 宅地造成及び特定盛土等規制法の施行に伴い、埼玉県が本市の区域を盛土等が規制される宅地造成等工事規制区域及び特定盛土等規制区域に指定したことによる条例の廃止です。

◆本庄市水道事業給水条例の一部を改正する条例
 災害その他非常の場合に、他の水道事業者が指定した給水装置工事事業者による給水装置工事の施行を可能とするための条例の改正です。



6月定例会のういき

- 5月26日 本会議
 - ▼会議録署名議員の指名
 - ▼会期の決定、諸報告
 - ▼市長提出議案の上程
 - ▼市長提出議案の提案理由の説明
 - ▼市長提出の議案内容の説明
- 5月28日 本会議
 - ▼議案に対する質疑・一部議案の即決
 - ▼議案の常任委員会付託
- 5月30日 常任委員会
 - ▼総務常任委員会
 - ▼厚生文教常任委員会
- 6月2日 常任委員会
 - ▼建設産業常任委員会
- 6月6日 特別委員会
 - ▼17号パイス及び幹線道路整備対策特別委員会
- 6月9日 特別委員会
 - ▼交通政策及び観光政策特別委員会
- 6月16日 本会議
 - ▼議会運営委員会委員の辞任、選任
 - ▼一般質問
- 6月17日 本会議
 - ▼一般質問
- 6月18日 本会議
 - ▼一般質問
 - ▼本庄上里学校給食組合議会議員の補欠選挙
 - ▼諸報告
- 6月20日 本会議
 - ▼各特別委員長報告の採決
 - ▼各常任委員長報告の採決
 - ▼市長提出追加議案の上程の採決
 - ▼閉会中の継続審査

◆人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
 人権擁護委員法第6条第3項の規定により、飯野清則氏を人権擁護委員の候補者として推薦したため、議会の意見を求めるものです。

◆令和7年度本庄市一般会計補正予算（第2号）
 転入や転出、死亡などライフイベントに関連する申請手続きにおいて、必要となる申請書を自動で作成するスマート窓口システムの運用に向け、庁舎1階市民課フロア周辺のレイアウト変更を行うため、備品購入費等を追加するなど、歳入歳出それぞれ3511万4000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ339億5691万9000円とするものです。



提出議案とその結果

（賛成：○ 反対：× 棄権：棄 欠席：欠）

議案番号	件名	議席番号	議決結果																				
			2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
第42号議案	本庄市敬老祝金給付条例の特例に関する条例【P2】	栗田弘志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第43号議案	本庄市土砂の堆積の規制に関する条例を廃止する条例【P2】	倉林益代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第44号議案	本庄市税条例の一部を改正する条例 ・地方税法等の一部改正に伴う所要の改正	小賀野健司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第45号議案	本庄市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部改正に伴う所要の改正	内田英亮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第46号議案	本庄市水道事業給水条例の一部を改正する条例【P2】	矢野間規	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第47号議案	本庄市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例 ・建設業法施行令の一部改正に伴う所要の改正	山口豊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第48号議案	本庄市下水道条例の一部を改正する条例 ・災害その他非常の場合に、他の下水道事業者が指定した指定下水道工事店による排水設備等の新設等の工事の施行を可能とするための改正	山田康博	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第49号議案	市道路線の廃止について ・道路法第10条の規定に基づき、開発行為に伴い路線を短縮し再認定するため廃止するもの1件について、市道路線を廃止するもの	清水静子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第50号議案	市道路線の認定について ・道路法第8条の規定に基づき、開発行為に伴い路線を短縮し再認定するもの1件など計2件について、市道路線を認定するもの	門倉道雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第51号議案	専決処分の承認を求めることについて ・令和7年3月31日に公布された地方税法及び地方税法等の法律の一部を改正する法律のうち、市税に関する改正規定の一部が令和7年4月1日から施行されることに伴い、本庄市税条例の一部を改正する条例を専決処分したことについての報告及びその承認を求めるもの	堀口伊代子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第52号議案	専決処分の承認を求めることについて ・令和7年3月31日に公布された地方税法及び地方税法等の法律の一部を改正する法律のうち、都市計画税に関する改正規定が令和7年4月1日から施行されることに伴い、本庄市都市計画税条例の一部を改正する条例を専決処分したことについての報告及びその承認を求めるもの	富田平一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第53号議案	専決処分の承認を求めることについて ・令和7年3月31日に公布された地方税法施行令及び国有資産等所在市町村交付金法施行令の一部を改正する政令のうち、国民健康保険税に関する改正規定が令和7年4月1日から施行されることに伴い、本庄市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を専決処分したことについての報告及びその承認を求めるもの	柿沼綾子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第54号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて【P3】	柿沼光男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第55号議案	専決処分の承認を求めることについて ・八潮市で発生した道路陥没事故を受け、大口径かつ古い下水道管を対象に早急に調査を実施するため、令和7年度本庄市下水道事業会計補正予算（第1号）を専決処分したことについての報告及びその承認を求めるもの	広瀬伸一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第56号議案	令和7年度本庄市一般会計補正予算（第2号）【P3】	小林 猛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第57号議案	令和7年度本庄市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） ・すべての被保険者に資格確認書が交付されることに伴い、不足が見込まれる郵送費の追加など歳入歳出それぞれ143万9000円を追加し、総額を12億714万9000円とするもの	高橋和美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第58号追加議案	本庄市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ・国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正を踏まえ、投票所の投票管理者等の報酬額を改定するための改正	林 富司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第59号追加議案	令和7年度本庄市一般会計補正予算（第3号） ・令和6年度に実施した定額減税補給付金の支給額に不足が生じる方等に対し、令和7年度に追加で給付を行うなど歳入歳出それぞれ1億5572万5000円を追加し、総額を341億1264万4000円とするもの	早野 清	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では、16名の議員が質問を行いましたので主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。

詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）を議会事務局、児玉総合支所、本庄ガスECOはにぼんプラザ、図書館、公民館及び市議会ホームページで閲覧することができます。

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html>



ここがポイント！ そこが聞きたい！！



**児玉総合公園体育館
利用者の駐車場について**
自由民主党 小林 猛
本庄代表

問 県大会の予選会場として、公式試合に適合した会場は、シルクドームとエコーピアの2会場であるが郡市内のバスケット会場はエコーピアとなります。中学校の数は児玉郡市内で私立も含めて10校であり、男女で合計20チームとなります。1チーム駐車場スペースが10台必要です。そのため合計200台以上の駐車スペースの確保が必要になるため駐車スペースの増設をお願いいたします。

答 タカハシソースエコーピアでは、例年、様々な大会が開催されており、車を利用して来られる方も多い状況です。敷地内の駐車可能台数は、70台であり、規模の大きい大会や参加選手等の人数によっては不足することもあります。そのため、主催者、選手、関係者に乗り合わせや公共交通機関の利用等にご協力をお願いしています。併せて、隣接するセルデイや



児玉総合公園体育館の駐車場

【その他の質問】
・所有者不明の不動産等について
・JR児玉駅前の件について

金屋小学校、また、県立児玉高等学校など周辺施設と事前協議し、各施設が有する駐車場を相互利用することで対応しています。施設の所管に関わらず、互いに融通、補完し合うことは、行政の効率的運営において重要なことと認識しています。

駐車場の増設については、駐車区画線を引いていない未利用部分を追加の駐車区画とすることが可能と考えていますので、迅速に対応できるよう努めます。駐車場の対応策は、引き続き各施設の相互利用をしながら、限られた敷地の有効活用を図っていきます。

（スポーツ推進課）

本庄市の未来への投資について
公明党代表 栗田 弘志

問 魅力溢れる街づくりの土台は、経済分野であると考えます。商業・工業・農業の基盤がしっかりすることでの発展・活性化もあると思います。本市では2カ所の発展創出ゾーンがあります。特に国道17号バイパス本庄道路付近について、仮に道の駅が出来て、あとは田園風景が広がるのか、それとも商業・工業・農業が一つになる発展創出ゾーンになるのか、市長の考えを伺います。

答 総合振興計画及び都市計画マスタープランでは、発展創出ゾーンを、地域活力の新たな創出を図るゾーンとして位置づけ、計画的なまちづくりを進めています。発展創出ゾーンは、市内の主要な幹線道路網に近接したエリアであり、産業用地の創出に向けた適地選定の候補地や道の駅の基本構想における候補エリアとして、これらの整備に向けた検討を行っています。



（産業開発室）

一方、これらの地域は農業の振興にも寄与してきているエリアですので、商業・工業・農業、それぞれの産業の発展地域の発展に繋がるよう今後も調査研究を進めていきます。

また、公共事業により集団性が確保できず生産性が低くなる農地や、農地以外の目的に転用することで地域の振興に寄与する可能性を有する農地があることも予想されます。今後とも関係法令を遵守しながら農業の振興と地域の発展に向けた調和のとれた土地利用の最適化に向け、発展創出ゾーンを中心に、市の将来を持続的に支える多様な機能の誘導に積極的に取り組んでいきます。

**医療費削減のための
特定健診の受診率向上について**
市議団未来代表 堀口 伊代子

問 国保加入者の74歳以下
の医療費は年間一人平均377,048円、75歳以上の後期高齢者で824,928円。後期高齢者医療の財源は国庫市の税金が5割、現役世代からの支援金である保険料が4割となっている。現役世代が減少する中、社会保障料の負担増が懸念される。健診を受診することは生活習慣病の早期発見・治療につながるが、特定健診の受診率向上の取組みについて伺う。

答 本市の特定健診の受診率は、令和5年度は36.5%となり、近年上昇しています。県内市町村の平均40.4%には届かない状況です。受診率向上の取組では、受診者にインセンティブを与える事業として、健康づくりチャレンジポイント事業の「はにぼんチャレンジ」で受診者には、ポイントを高く付与しています。

また、受診しやすいよう集



【その他の質問】
・小中学校における健康教育について
（保険課・健康推進課）

団健診の日程に土曜日を5日間設け、更に特定健診と同時に、胃がんリスク検診や肺がん・結核検診、大腸がん検診等が受診でき、一部の日程ですが、子宮頸がん、乳がん検診を同時に受診できるプリンセス健診を実施しています。

その他、案内通知書は毎年紙面を工夫するなど、わかりやすいものとなるよう努めています。加えて、受診率向上には受診勧奨が有効であることから、未受診者に受診勧奨を行うっており、令和6年度は人工知能を用いたデータ解析による効率的、効果的な勧奨通知の送り分けを行っています。

**まちの灯りの現状と
今後について**
市議団きせき代表 矢野間 規

問 全国的にも課題視されている、商店会街路灯灯。個人や組合が任意で管理しているのか。また今後、商店会や組合が解散した場合、市への移管は可能なのか。その際、防犯灯と街路灯では設置基準が異なるため、市民生活部、経済環境部どちらの管轄になるのか現場では判断が困難なところ。そこで市長の判断が必要になってくるが、街路灯の今後の見解を伺う。

答 商店街街路灯は、市料金の補助制度を活用しているものが約690基あります。このほかの任意の団体や個人で管理しているものは、正確な数が把握できていません。個人や任意団体で管理されている街路灯は、民間が設置したもの不要となった場合の撤去費用も設置者自らご負担いただくことが原則です。将来の撤去に備え基金などを



商店会街路灯

【その他の質問】
・本庄市のシテイプロモーションについて
（商工観光課）

市長の市外活動の本市に関する
利点と今後の市長の考え方
市議団大地代表 富田 雅寿

吉田市長が就いて
る、全国市長会副会長
及び埼玉県市長会会長及びそ
の関連の役職活動に際し、本
庄市への利点がありますか。

吉田市長が市長になられて
約二十年が経ちました。吉田
市長が市長になったときに考
えていた理想の本庄市になり
ましたか。なっていないとす
れば現在何割達成でしょうか
今任期あと半年です。本市の
今後の方向性と吉田市長のお
考えをお伺いいたします。

【その他の質問】
・本庄駅北口整備の進捗状況
と本庄総合公園について
・行政施設跡地及び市所有地
について

【答】
政策形成や予算措置等
に対して強い影響力を持つた
め、国の情報を早期に得られ
同時に自治体の課題やニーズ
を直接訴えることができます
また、市長同士のつながり
政策に精通した国の職員や民
間人材との交流を私自身、そ
して職員が生かすことで、本
市の発展に役立つと確信して
います。市長会をはじめ各会
の取りまとめの役割を果たし

基礎自治体の声を国や県に届
け、地方の底上げを図ること
が、結果として本市の利益に
つながると考えます。
市長就任時に思い描いた
姿と現在は、必ずしも一致し
ないものの、社会の変化に合
わせ、思い描く姿も変わって
いく、むしろ変えていくべき
と考えています。
いま何合目かと問われれば、
ひと山越えればまたひと山と
いう感覚であり、一つ一つの
事業に愚直に取り組み、まち
づくりを魂を込め、皆様とと
もに更なるチャレンジを重ね
ていく決意です。
(秘書課)



本庄市役所

実情に合った
遊休農地の解消に向けて
倉林 益代(市議団きせき)

全国的な課題である
遊休農地。このままで
は拡大する一方の遊休農地。
その実情は千差万別である。
優良な農地に生まれ変わる
農地は新規就農者等に繋げら
れるように整備し、所有者個
人の努力ではどうにもならな
い農地は個々の実情を把握し
その悩みに寄り添い、将来的
な見通しを持った指導助言を
していただきたいと思うがど
うか。青地の遊休農地は何ら
かの対応がとられるのか。

【その他の質問】
・農地所有者から今後
の農地利用について相
談があった際には、農地台帳
や航空写真で利用状況などを
確認し、耕作者の斡旋や農地
転用制度についてのご案内を
しているところですか。農業委
員会では、農業や農地の管理
経験がないなどお困りの状況
は様々だと存じますので、相
談者の状況等をよく伺いなが
ら、引き続き農地の有効な活
用に向けて、丁寧な対応を心
掛けていきます。

【その他の質問】
・農作物PRと遊休農地活用
によるシティブロモーション

【答】
また、優良農地の確保・保
全とともに、農業に関する公
共投資その他農業振興施策を
計画的に実施することを目的
として10ヘクタール以上の集
团的農地を農用地、いわゆる
青地として、効率的な農業を
進め、保全する土地を範囲指
定しています。この区域は、
集团的に農業を進め、保全す
るエリアとして市の計画で定
めており、一筆ごとの耕作状
況は影響しないことから、遊
休農地であっても農地として
区域に含まれることが原則で
あり、農用地から除かれるこ
とはありません。
(農業委員会事務局)



青地指定でどうにもならない農地

インクルーシブ広場(公園)
について
早野 清(自由民主党本庄)

本庄市と児玉町が対
等合併し、約二十年に
なりますが、児玉地域に大型
公園を作っていたかどうか思
います。誰もが一緒に楽しめ
るユニバーサルデザインを取
り入れた遊び場(インクルー
シブ公園)。将来的には、利
用者や地域団体の自治により
公園が育てられるインクルー
シブ公園を児玉町中心市街地
の競進社南の公有地(児玉児
童公園・公民館跡)に作るこ
とへの見解をお伺いします。

【その他の質問】
・本市における自治会への
加入について
小賀野 健司(市議団未来)

【答】
児玉児童公園周辺エ
リアは、本庄市緑の基
本計画において、今後優先的
な検討または整備が必要なエ
リアの一つとして定めていま
す。この計画に基づき、児玉
児童公園などの公有地を含め
たエリアを有効的に活用し、
人々が集い憩いの場となるよ
うな検討を関係機関と連携し
ながら行っていきます。
インクルーシブな公園の整
備には、障害のある子供を育

一、本市における自
治会の現状と課題につ
いて、二、本市における自治
会への加入促進策の実施状況
と今後の取り組みについて、
三、本市における自治会加入
者への補助や助成について、
四、自治会加入者への情報提
供や勉強会・活動支援の提供
について、五、自治会はゴミ
集積所の利用料金を掲示する
とか清掃に一定の条件を出し
て管理することが大切ですが、
本市のお考えを伺います。
現在、本市には85の
自治会がありますが、自
治会加入率の低下など、自
治会活動の課題も見受けられ
ます。自治会の加入世帯率は、
令和元年度に85・31%であっ
たものが、令和6年度80・
53%、令和7年度には79・
90%と減少しています。加入
促進の取組ですが令和5年8
月に「くらしの便利帳」を全
戸配布し、自治会組織の概要
と主な活動の紹介、加入方法



児玉児童公園

【その他の質問】
・小・中学生の安全なデジタ
ル機器利用について

インクルーシブな公園とし
て整備を行うには十分な検討
が必要ですが、共生社会の実
現を目指す公園の整備として
インクルーシブ遊具の導入を
少しずつでも進めていきたい
と考えています。まずはその
第一歩として児玉児童公園に
おいて子供たちの遊び場の充
実を目的とし、ユニバーサル
デザインの考えを取り入れなが
ら、インクルーシブ遊具の
設置を検討していきます。
(都市計画課)

家庭などの廃食用油
は9割以上が捨てられ
ている。廃食用油の有効利用
とCO2削減ができる取り組
みとして「Fry to Fly
Project」がある。
使い終わった天ぷら油で航空
機が空を飛ぶプロジェクト
だ。本市も参加してはどうか。
上武連携構想の10市町と連携
して「私達が集めた天ぷら油
で、ここから飛行機を飛ばそ
う」と市民の皆様と想いを一
つに頑張るのはいかがでしょうか。

清水 静子(公明党)

【その他の質問】
・合併以前から本
庄地域の各公民館で回収し、
廃食用油の再資源化を図って
います。現在は、市内10か所
の公民館と児玉総合支所で回
収しています。なお、回収で
きる油の種類は、菜種油など
の植物性油のみです。
議員ご提案の「Fry to
Fly Project」は、
国内で発生する廃食用油を、
航空燃料として活用していく

【その他の質問】
・HPVワクチンについて

【答】
回収は、合併以前から本
庄地域の各公民館で回収し、
廃食用油の再資源化を図って
います。現在は、市内10か所
の公民館と児玉総合支所で回
収しています。なお、回収で
きる油の種類は、菜種油など
の植物性油のみです。
議員ご提案の「Fry to
Fly Project」は、
国内で発生する廃食用油を、
航空燃料として活用していく



Fry to Fly Project

【その他の質問】
・環境推進課

ため、教育活動の実施や国内
において脱炭素化に向けた資
源循環の促進に積極的に参加
できる機会を作っていく活動
であるとの説明があります。
このプロジェクトは、航空業
界と日常生活がつながり、廃
棄物の減量など、3Rによる
地球環境全体の脱炭素化につ
ながる大きな取組であり、個
人や企業等も参加できるもの
です。プロジェクトの趣旨や
取組は、本市としても、賛同
できるものと考えています。
今後は、先進的に取り組む
市町村の活動を参考に、県や
近隣市町の動向も注視しなが
ら、可能なことから取り組ん
でいけるよう調査研究を進め
ていきます。
(環境推進課)

【その他の質問】
・環境推進課

【答】
現在、本市には85の
自治会がありますが、自
治会加入率の低下など、自
治会活動の課題も見受けられ
ます。自治会の加入世帯率は、
令和元年度に85・31%であっ
たものが、令和6年度80・
53%、令和7年度には79・
90%と減少しています。加入
促進の取組ですが令和5年8
月に「くらしの便利帳」を全
戸配布し、自治会組織の概要
と主な活動の紹介、加入方法



(市民活動推進課)

あまりんが稼いだ
ふるさと納税で、市の魅力を
高める提案

内田 英亮(市議団大地)

問 昨年1億円を超えたふるさと納税額に占めるあまりんの金額と割合は。

魅力があり稼げるあまりんに対しいくら使っているか。あまりん生産者や関連事業へもつと寄附金を使い本庄市の魅力を高めるべき。使い道の選択肢にあまりん生産者応援・本庄野菜を応援や本庄野菜とあまりんをパッケージ化した返礼品や寄附者に市に関する案内を送付するなど本庄の農作物全体をPRする工夫を。

答 返礼品としてあまりんを選択した割合及び寄附額は、令和6年度は寄附額約1億6700万円のうち、53・1%の8869万円です。寄附のあまりんへの活用ですが、令和7年度はほんじょうプレミアムストロベリーマーケットの開催に係る経費及び新規事業である本庄産あまりんPR推進事業に合計で約200万円の活用を見込んでいます。

付助奨も実施しており、不在の場合には、連絡票を郵便受けに投函しています。本市では、コールセンターの納付助奨と収納課職員による滞納処分等を車の両輪と位置づけて効率的、効果的な徴収業務に取り組み、収納率の向上に成果を上げていると考えています。

自動音声システムやSMS一斉送信システムは、夜間や休日の納付助奨を拡充し相互補完的な効果が見込めます。デジタル化が進む中、時代の変化に対応した新しい手法を調査研究していくことも必要であると考えており、導入済み自治体の状況等も含め、調査研究を行っていきます。

【その他の質問】
・投票率の向上に向けて



本庄野菜の返礼品セットは季節ごとに登録がありますが、セットの中あまりんを入れることについては今後検討していきます。返礼品のPRのチラシ等は以前送付していましたが、現在事業者の声を伺いながら見直しをしているところとあります。また、ポータルサイトの返礼品の紹介文には生産者自身の画像や想いの掲載を行っており、生産者の方のPRをしています。

議員ご提案の、具体的な寄附の使い道を明示することや、寄附分野の見直し等については、より効果的な方法を研究し、検討していきます。

【その他の質問】
・埴保己一記念館への学芸員配置と文化財専門職員の育成



約9千万稼いだうち2百万があまりんに

本庄市の財源確保について
巴 高志(市議団きせき)

問 人口減少社会で厳しい財政状況のなか、自治体は複雑多様化する諸問題を解決する施策を迫られています。こうした状況で、財源不足を補う手段を講じなければなりません。本庄市として税収以外に収入を得る「稼ぐ自治体」としてどのような取り組みをしているかお聞かせ下さい。

答 市民の皆様へ行政サービスを確実に提供し、各政策を着実に進めるため、ふるさと納税など多様な手法により、財源確保に努めています。稼ぐ自治体は今後の取組の重要な視点とされています。これまで以上に稼げる地域を目指した行政運営を行う必要があり、本市としては、大きく二つの取組が必要であると考えています。一つ目は、市民の皆様や市内企業等がしっかりと稼げるための環境整備を進めること。将来に向けた環境整備等

災害犠牲者ゼロを目指した
本市の取り組みについて
林 富司(市議団未来)

問 備えあれば憂いなしということわざがありますが、いつ発生するかわからない自然災害に對し市民の安心を守るための市の取り組みについて、また避難所となる市の公共施設等の環境整備について併せて伺います。

次に被害者の生活や健康を守るための食糧や物資の備蓄状況について伺います。最後に本庄市地域防災計画の現状と今後の自然災害に對する本市の取り組みを伺います。

答 公助の取組を進めるとともに、市民の防災意識の高揚を図り、協力して危機管理体制を整えることを目指して、各種ハザードマップを活用した研修会や地域防災訓練の実施のほか、防災ガイドマップによる自助意識の啓発、自治会を主体とした自主防災組織や消防団活動への支援、施設整備、避難行動要支援者対策などの取組を進めています。

を進め、皆様にとって稼げる地域を目指していくことが税収等の向上にも繋がるものと考えています。二つ目は、自主財源を稼ぐ観点を持ち、多様な取組を進めることです。特にふるさと納税の推進は、自主財源の確保はもとより地元事業者の販路拡大にも繋がるなど地域活性化を図ることができると期待しています。また、クラウドファンディングも自治体が抱える地域課題の解決等に繋がる有効な取組であると考えています。

【その他の質問】
・本庄市の小中学校における校外活動について



避難所の環境整備は、どの避難所でも円滑な開設・運営ができるようマニュアルを作成し、避難所開設訓練等を実施しています。また、中学校体育館への空調設備やマンホールトイレの整備を進めています。

備蓄状況は、4万8千食の目標に對し、要配慮者向けのものも含め現在約5万2千食を、また、毛布やブルーシート、簡易トイレ等を備蓄しています。

地域防災計画は、地震・水害・土砂災害等の各種災害対策について定めており、この計画に基づき防災対策等を実施しています。災害による被害を軽減するため、自助・公助の充実を引き続き推進していきます。



(危機管理課)

**老朽化した公共施設の
マイナス入札について**
門倉 道雄(市議団未来)

問 深谷市は建物解体条件付き土地売買契約として落札金額をマイナスで公共施設の入札を実施した。今回で4例目、最初は平成30年12月、廃校の体育館で現在は住宅が建っている。税収も見込める。要領には落札者が解体工事を行い解体確認後、市が負担金を支払い土地所有権の移転となる。未利用資産の活用を進めるには民間のノウハウを取り込むマイナス入札の手法を提言するが如何か。

答 マイナス入札は、落札者による建物解体を条件とした市有地公売のため、契約後の建物解体や造成等のスムーズな進行、民間の知識や技術を生かした解体費用の圧縮等を期待できます。また、土地活用を前提とするため、未利用地が速やかに活用され固定資産税等の税収にも繋がります。具体的な利活用が見いだせない未利用資産は、多額な管

収納率の向上について
高橋 和美(市議団大地)

問 市税の公平・公正な負担のために滞納者には納税コールセンターから督促・催告の電話が行きます。しかし電話かけは昼間の時間帯なので接触率は半分程度です。そこで自動音声催告システムを導入して接触率の高い時間帯に一斉に電話をするのとや、携帯電話にショートメッセージを送るなど時代に合った方法を検討することで市税等の収納率の向上が図れないかお尋ねします。

答 収納率の向上を図ることは、税の公平性確保等の観点からも重要であり、本市では、民間委託による納税等コールセンターを設置し、平日の午前9時から午後4時30分まで、電話による納付助奨を実施しています。また、毎月1回、平日の夜間と休日にも実施しています。電話番号が不明、複数回の電話に回答が無い方には、平日の昼間、自宅訪問による納

理費が必要となり、解体する場合には、更に多額な費用が必要となりますが、本市では、これまでは未利用な建物については概ね整理できています。一方で、公共施設の老朽化に伴い、多くの施設が大規模な改修や更新時期を迎え、公共施設のあり方を大きく見直すべき時期に来ており、昨年度末に公共施設に関する基本的な考え方や全体目標、今後の取組等を定めました。施設の見直し方針の中には、複合化等により、建物は解体し、跡地は売却を検討する施設もありますので、マイナス入札も市有地を公売する際の有効な選択肢の一つとして、引き続き調査研究していきます。

【その他の質問】
・通学路の安全確保について



公共施設のマイナス入札(深谷市HPより)

訪問介護の現状と 次期介護保険料への 基金の扱いについて

柿沼 綾子(無党派)

問 訪問介護報酬が2.3%引き下げられたことにより、全国で訪問介護事業者・事業所が崩壊の危機に見舞われ、利用者が訪問介護を受けられず大問題となっているが本庄市の現状はどうか。また、これまでの保険料の改定では、介護保険給付準備基金を使えば、値上げせずともよかったことがあったが、次回の改定では、どのような考え方で、姿勢で約5億円の基金を充てていくのか伺う。

答 本市の訪問介護の現状については、直近3年間の訪問介護事業所の廃止は4件で、現在市内では、17事業所が運営しています。利用者から、訪問介護が受けられないという直接の声は聞かれません。居宅介護事業所へのアンケートでは、本市に不足しているサービスとして訪問介護を上げる事業所が多くありました。介護給付準備基金について

は、適正な水準は保険者である市町村が決定するものですが、計画期間終了時に基金の余剰額を次期計画期間に繰り入れ、保険料上昇の抑制に充てることは基本的な考え方です。国では、基金残高と繰越金の合計額が少ない保険者においては余裕を持った保険料設定を、一方、相当程度積み上がっている保険者は、保険料上昇の抑制に留意した適切な保険料設定を検討するよう通知しています。

国の考え方や介護保険運営協議会の答申の他、様々な検討を行い、適正な範囲で被保険者の負担を軽減した保険料設定をしたいと考えています。(介護保険課)

【その他の質問】
・自転車利用者への対策について



ル校についてどのような内容の取組をするのかなどについて質疑しました。付託議案3件について、すべて可決すべきものと決しました。

17号バイパス及び幹線道路 整備対策特別委員会

国道17号バイパス本庄道路の早期整備のため、大宮国道事務所を訪問し、要望活動を実施しました。また、埼玉県議会において、白土幸仁埼玉県議会議長、飯塚俊彦埼玉県議会副議長へ表敬訪問をしました。



埼玉県議会への表敬訪問

交通政策及び観光政策特別委員会

栃木県那須烏山市役所へ行き、那須烏山市議会J R烏山線利用促進特別委員会及び那須烏山市まちづくり課よりJ

R烏山線利用促進に係る活動について説明を受けた後、活発な意見交換を行いました。



意見交換の様子

本庄市議会議員政治倫理審査会を開催しました

令和6年12月18日付で堀口伊代子議員に対し、本庄市議会議員政治倫理条例第4条の規定に基づき審査請求書が提出されたため、同条例第5条第1項に基づき、本庄市議会議員政治倫理審査会を設置しました。構成委員は議員5人と学識経験者3人の合計8人です。

令和7年4月23日及び令和7年5月27日に本庄市議会議員政治倫理審査会を開催し、審査請求のあった事案について審査を行いました。審査の結果は次のとおりです。

地域で子どもを育てる 地域教育について

山田 康博(市議団きせき)

問 未知である超高齢化社会・少子化時代に向かう中「地域の宝」である子ども達に未来を託すにあたり、学校教育・家庭教育そして地域教育は社会に必要な「コミユカ」や「生きていく力」を学ぶ重要な部門であると考え、各地の地域教育を支える、子ども会・育成会を取りまとめる本市連の弱体化は自治会においても悪影響を及ぼしかねない。本市の地域教育の在り方について見解を伺う。

答 現在、市内には63の子ども会育成会があり、各種行事を行い、子ども達の健全育成の一助を担っています。本市連は、子ども会育成会の連合体として昭和47年に創設され、各子ども会育成会の啓発指導、リーダー養成を目的とした研修など数多くの事業を実施してまいりました。しかし、少子化の影響により、子ども会育成会の加入児童数の減少や、それに伴う本市連からの退会により、今年度の加入団体は44団体、加入者は全児童数の約44.7%と年々減少しています。教育委員会では、子ども会育成会は、子どもたちの健全育成を推進していく上で重要な役割を担うものと捉えていますので、その役割と必要性について様々な機会を捉えて説明に努めるとともに、家庭、学校及び地域社会が連携した地域教育を推進する人材の育成と、その活躍できる環境の整備にも努めていきたいと考えています。「地域の子どもは、地域で育てる」という考えのもと、子ども会育成会及び本市連とともに、子ども達のためにできることを協力しながら進めていきます。(生涯学習課)



(生涯学習課)

委員会のついで

6月定例会における各委員会の審査内容について主なものを紹介いたします。

総務常任委員会

第44号議案
本庄市税条例の一部を改正する条例
公示送達をインターネットに載せる手法を導入することなどについて質疑しました。付託議案2件について、すべて可決すべきものと決しました。

建設産業常任委員会

第43号議案
本庄市土砂の堆積の規制に関する条例を廃止する条例
これまで本庄市の条例に違反などをしている実態などについて質疑しました。付託議案7件について、すべて可決すべきものと決しました。

厚生文教常任委員会

第56号議案
令和7年度本庄市一般会計補正予算(第2号)
北泉小学校でよりよい生き方等の道徳教育に関するモデ

インフォメーション

本会議のライブ中継・録画配信

○本会議の全日程をライブ中継及び録画配信でご覧いただけます。また、録画配信では、過去5年間分をご覧いただけます。

★本会議のライブ中継・録画配信のアドレス
https://smart.discussvision.net/smart/tenant/honjo/WebView/rd/council_1.html

※スマートフォンでも
ご覧いただけます。



傍聴のお知らせ

【本会議を傍聴される方】

本会議は、一般質問の日は午前9時30分に、それ以外の日は午前10時に開会予定です。傍聴を希望される方は、議会事務局で傍聴の手続きを行っていただき傍聴席にご入場ください。
※ヒアリング(磁気)ループもごさいますので、お声がけください。

【委員会を傍聴される方】

委員会は、通常、午前9時30分に開会します。当日の委員会開会5分前までに議会事務局で傍聴の手続きを行ってください。各委員会の定員は3名で、定員を超えた場合は抽選により決定いたします。

※発熱、せきなど、体調不良の方は、傍聴をご遠慮ください。

永年勤続議員表彰

このたび、全国市議会議長会及び埼玉原市議会議長会の定期総会において、地方自治進展のために貢献された市議会議員に対し、永年勤続の表彰が行われました。

.....	15年表彰	20年表彰	30年表彰
				
堀口 伊代子 議員	富田 雅寿 議員	榎田 平一郎 議員	広瀬 伸一 議員	林 富司 議員

※表彰規程により、町議会議員としての勤続年数は、その2分の1が市議会議員の勤続年数に通算します。

「本庄市議会だより」表紙写真を募集します！

「本庄市議会だより」の表紙を **あなたの撮影した写真** で飾ってみませんか。

《写真のテーマ》 **ここにいたい。本庄**

本庄市のブランドメッセージ「どこにでも行けるけど、ここにいたい。本庄」市民の皆様にとって「ここにいたい。」と思う本庄の写真を募集します！

《応募期間（必着）》 11月15日発行号…令和7年8月15日～9月19日
2月15日発行号…令和7年11月15日～12月19日



応募規定

次に該当するもので、**どなたでも** 応募いただけます。（1号につき2枚まで）

- ①応募者本人が本庄市内を撮影した写真
- ②概ね1年以内に撮影した未発表のもの
- ③人物が特定できる場合、被写体の承諾を受けたもの
- ④合成写真、組み写真、画像加工処理したものは不可
- ⑤デジタルデータ（JPEG形式、2240×1680ピクセル以上）又は現像した写真（2Lサイズ以上）で提供できるもの

応募方法

応募用紙に必要事項を記入し、議会事務局へメール（gikai@city.honjo.lg.jp）、郵送又は持参（土・日・休日を除く）にてご応募ください。

表紙写真公募要領に記載の事項をご確認いただいた上で応募してください。

※応募用紙、表紙写真公募要領は、ホームページ又は議会事務局にて配布しています。

<https://www.city.honjo.lg.jp/soshiki/shigikai/gikai/shigikaidayori/12083.html>



表紙写真HP

9月定例会の予定

8月25日(月)10:00～ 本会議(議案説明)	9月5日(金)9:30～ 交通政策及び観光政策 特別委員会
8月27日(水)10:00～ 本会議(議案質疑)	
8月29日(金)9:30～ 総務常任委員会 厚生文教常任委員会	9月16日(火)9:30～ 本会議(一般質問)
9月2日(火)9:30～ 建設産業常任委員会	9月17日(水)9:30～ 本会議(一般質問)
9月4日(木)9:30～ 17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会	9月18日(木)9:30～ 本会議(一般質問)
	9月22日(月)10:00～ 本会議(議案採決)

※会議の日程は、議事の都合により変更になることがあります。

編集後記

新緑がまぶしい季節となり、市内のあちこちで色とりどりの草花が咲き誇っています。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

本号では、6月定例会の議案や市政に関するさまざまな取り組みを、分かりやすくお伝えすることを心がけました。議会は市民の皆さまの声を反映し、暮らしをより良くするための大切な場です。今後も「議会だより」がその橋渡しの一助となれば幸いです。

次号も引き続き、わかりやすく親しみやすい議会情報をお届けできるよう努めてまいります。今後とも本庄市議会だよりをよろしく願っています。

広報広聴委員会

- 部会長 内田 英亮
副部会長 倉林 益代
部会長 栗田 弘志
部会長 小賀野 健司
部会長 矢野 間道
部会長 小門 倉道
部会長 小門 倉道
部会長 小門 倉道
部会長 小門 倉道

